

は
が



コンサートの企画から会場づくり、音響、照明などの裏方まで、すべて有志で運営されました

今回は波賀の地域で活動する5つのグループが出演しました。実行委員長の中谷浩臣さんは「我々の奏でる音楽が少しでもまちおこの一環となれば…」と話されます。

懐かしいメロディにしみじみしたり、会場全員で歌ったり…。おやじ世代は意外に元気です。文化の面から地域を活性化したいとの思いがあふれたコンサートでした。

(波賀支部 可藤和成)

まさに波賀の「おやじバンド」大集合といったところでしょうか。10月27日(土)夜、木の香に包まれた波賀市民局旧議場でフォレスト・スピリッツ波賀オータムコンサートが開催され、参加者約150人は元気の歌声に魅了されました。

『フォレスト・スピリッツ波

元気出そうやー!

地域で頑張るおやじバンドがコンサート

賀』と題したコンサートは、森林のまちから音楽の風を吹かせようという思いで、10年前に始まりました。当初は波賀のアマチュアバンドの発表の場でしたが、続けていく中で、仲間の輪が広がり、西播磨で活躍するグループも出演するようになってきました。

第一期モデル地区推進中!

西河内ふれあいサロン

10月25日(木)、公民館で2回目となるふれあいサロンが開催され、26名の参加がありました。

参加者からは「今日楽しかった」「人に出会って、よう笑うんがええ」など、集うこと

が始まっています。

福祉委員や民生委員などが協議し、取り組みがスタートしています。

西河内ふれあいサロンの立ち上げ、重点的に進めていこうと自治会役員、千種支部では西河内自治会がモデル地区指定を受け、実施しています。



今回のサロンはミニミニ運動会。缶積みレースでよい、ドン!

「初めてのことばかりなので、皆と相談しながら進めていこうと思っています」と池田道雄自治会長。

この指定事業を通じて、地域のつながりづくりや福祉連絡会の取り組みが前に進むよう、社協もお手伝いをしていきます。

(千種支部 小原志のぶ)

大栗市社協では、第2次地域福祉推進計画で、自治会の規模や実情にあつた福祉のつながりづくりを進めることを目的にモデル地区指定事業を実施しています。

ち
くさ

読者の感想より

山崎ボランティアフェスタに行き、体験コーナーは少しはざかくて参加できませんでしたが、スタッフの方々の対応がやさしくてうれしかったです。(山崎町 女性)